

# NDシンポジウム 沖縄と米軍基地 —県知事選で問われるべきは何か—

2018年

9月13日(木) 19:00-21:00  
(18:30 開場)

資料代：1000円（ND会員・学生は無料）

会場：弁護士会館10F 1003号室

東京都千代田区霞が関1-1-3（霞ヶ関駅B1-b出口よりから直通）

申込み：下記URLより申込フォームをご利用ください。

[www.nd-initiative.org/event/5397](http://www.nd-initiative.org/event/5397)

当日参加も受け付けますが、できる限り事前申込みをお願いいたします。

今月末、沖縄知事選挙が行われます。新基地建設反対を掲げ沖縄をまとめてきた翁長雄志知事の急逝を受けてのこの選挙は、今後、沖縄が辺野古基地建設にどのような姿勢をとるのかという点で極めて重要な選挙です。

8月末、沖縄県は辺野古埋め立て承認を撤回しました。この撤回について、知事選立候補予定の玉城デニー氏は支持を表明しましたが、佐喜眞淳氏は「注視」としています。

日本政府は、普天間基地の移設先について「辺野古が唯一の選択肢」との立場を変えていませんが、新外交イニシアティブ（ND）では、米海兵隊の役割や運用等について軍事・安全保障の視点も踏まえて検証し、辺野古以外の解決策をまとめ、日米両政府へ提言を行ってきました。

沖縄県知事選を前に、改めて辺野古の新基地が軍事・安全保障の観点からみて必要なのか、環境面での弊害はないのか等について検証し、何が選挙で問われるべきなのかを議論します。

## 登壇者



柳澤協二  
ND評議員/  
元内閣官房副長官補



屋良朝博  
ND評議員/元沖縄  
タイムス論説委員



ジョン・ミッチェル  
ジャーナリスト